

学 校 だ よ り

令和6年5月1日



5月号

NO. 415

横浜市立茅ヶ崎小学校

学校 <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/chigasaki/>

学校教育目標

自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子

## 正門の風景

校長 高橋 美都子

茅ヶ崎公園の緑が日増しに濃くなる季節になりました。はじめは恥ずかしそうだった1年生の「おはようございます」のあいさつが、日に日に大きくしっかりとした声になってきています。「今日は学校探検で1年生を案内します。」「今度、国語で音読発表会をします。」学校生活で楽しみにしていることの報告も聞こえてきます。4月の朝会で、明るいあいさつを交わして、お互いのことを知るきっかけをつくらうという話をしました。その成果が徐々に表れてきているようです。

さて、朝に、帰りに正門にいますと、いろいろな場面に出会います。

ある日の下校時のことです。中学年らしい男の子と、黄色いカバーのランドセルを背負った女の子が並んで門を通りました。1年生の下校時刻としては遅かったので、放課後キッズクラブで待っていた妹を、お兄さんが迎えに行き一緒に下校するのかなと見守っていました。すると、お兄さんが「さようなら」といった後、「ほら、校長先生にもあいさつして。」と妹を促したのです。「校長先生、さようなら。」妹は少し恥ずかしげに、でもしっかりとあいさつをして帰っていきました。お兄さんの誇らしげな顔が輝いて見えました。

また、別の日の登校時のことです。「1年生の〇〇、通りましたか？」と高学年の子に聞かれました。聞くと、登校中に妹とはぐれてしまったようで、「下駄箱にも靴が入っていないので…」と心配そうに話します。すぐに、担任と連絡をとったところ、教室にいますという返事をもらいました。安心していると、先ほどの子がやってきて「教室にちゃんといました。ありがとうございました。」と言って戻っていきました。妹を思う気持ちと、気にかけているだろう私への責任感に、温かい気持ちになりました。

互いのことに思いを寄せた行動をし合うことで、自分は大切に、必要な存在だという自己肯定感や自己有用感は育ちます。子どもたちが生活する学級や学校が、まず安心して生活できる場所でありたいと思いますし、集団生活をする中で、自分や周りの人たちを大切にしながら成長していく心地よさを感じられるようにこれからも教育活動を行っていきたくと考えています。

ゴールデンウィークが始まりました。4月から変化の大きい生活が続いた子どもたちです。しっかり休んでエネルギーを蓄えられますようお願いいたします。次の登校日も笑顔であいさつをして、気持ちのよい学校生活が送れますようにご配慮よろしく申し上げます。